

# 丸山湿原群保全の会会報

(第 180 号)

発行日：2022 年 (R4) 7 月 19 日 編集/発行：丸山湿原群保全の会  
〒669-1211 宝塚市大原野字炭屋 1-1 西谷地区まちづくり協議会事務局内

TEL/Fax0797-91-1788

090 - 1895 - 8061 (今住)

E-mail:[maruyamashitugengun@gmail.com](mailto:maruyamashitugengun@gmail.com)



## 戦争は最大の環境破壊と、差別を生み出します！

梅雨が無かったと思ったら、戻り梅雨。慢性的な天候不順。雨が多かろうが少なかろうが異常気温だろうが何だろうが世の中は基本的に普通？戦争が起こっていろいろ殺人があろうが当事者でない人の日常は…。

気候変動も戦争も全て人の活動によって生まれる？ということはある意味当事者。日常に変化が起きているのか。

確かに「節電」や、最近では「節ガス」までも。でもこれは「不足」から来る変化。地球温暖化を意識していることではないような。社会構造（国の施策？再生可能エネルギーの増加や車の電動化等）の変化で、2030 年までに何も意識しなくても 26%（2013 年度比）近くの CO2 が減らせるとか。ありがたいことです。が、このペースでは温暖化に対して間に合わないらしい。でも普通に暮らす自分もいる。いったいどうなるのでしょうか？ここにこそ新しい日常を、か？

世界人口も今年中に 80 億人時代へ突入とか。ところが日本は少子高齢化？「産めよ増やせよ」の旗振りは盛大です。子どもは増えてほしいですが、何か不思議な気がします。

(今住 7 月 18 日作成)

## 定期活動 ★6 月 26 日 (日) 定期活動 作業日 12 名で活動 午後総会 15 名

この日私は村の作業で午前の作業は参加できません。丸山のすぐ手前「柳谷」で山の下草刈りをしていました。またまたバーチャル。といっても今回はよくわからない。ちょびっとリポート。



歩道周囲の刈り取り (剪定?)

天候はますます。今日の作業は遊歩道にはみ出している枝葉の刈り取り。手作業のみ。特にヤマウルシが多くはびこっています。子どもたちの来訪機会も増えて、かぶれたら大変ということで、わが身の危険も顧みずヤマウルシ退治の作業です。

ヤマウルシは「漆塗り」に使われるウルシとは別種。仲間ですが。弱い人は弱い。近くを通るだけでダメな人もいるそう。荒れて開いた空間に出てくるパイオニア植物。通路は最も好む場所？刈り取っても毎年出てくるものですが少しでも安全確保。今日の作業で被害が出たかどうかは???ま~大丈夫でしょう。知らんけど。行ってないし。

**総会** 作業の後、場所を「西谷夢プラザ」会議室に移して 2022 年度の総会を開きました。会員総数 32 名。(法人 1 を含む) 参加数 15、委任 11、連絡無し 6。過半数以上の参加と委任で総会は成立しました。議案はすべて承認され、役員体制も変わらず。ちょっと遅い感はありますが今年度もよろしくお願ひいたします。



サギソウ開花数調査  
調査員募集

兵庫県天然記念物  
丸山湿原群

2022年8月20日(土)  
10:00 湿原入口集合  
《定員》 20名(先着順・無料)

《申し込み》  
丸山湿原群保全の会HP  
(下記問い合わせ先でも受け付けます)  
maruyamasagisou@gmail.com  
丸山湿原群保全の会 電話 090-1895-8061(今住)

丸山湿原エコミュージアム推進協議会  
兵庫県阪神北東長局・宝塚市(共催)  
環境都市宝塚推進市民会議(後援)  
丸山湿原群保全の会(実施団体)

参加される方は、動きやすい服装、トレッキングシューズなどでお越しください。また、暑さ対策(水分補給、体調管理)は各自で責任をお持ちください。携帯電源は使えません。お昼過ぎには終わる予定です。コロナガイドラインを遵守します。

申し込みはHPからが便利

**やまぼうし保育園 来訪** ★7月8日(金) 分園(15名)

**はなみずき保育園 来訪** ★7月11日(月) 分園(20名) 7月15日(金) 本園(22名)

昨年度に引き続きやってまいりました。ピカピカの長靴を履いて。

最初のやまぼうし保育園分園の時は水がない状態。(梅雨なし) 湿原にも水がない場所が多くあり



へびは意外にサラサラ

りました。しかし上流の湿原には水がなくとも小川には水がある。ということで恒例のプチ沢登り。マムシに注意! サワガニ(沢蟹)を探し、ちっちゃいのをゲット。沢を上がってやれやれと思ったとき「へびや〜」の声。へび嫌いの園長さんは既に逃走? どれどれと探してみると…なんと!

ジムグリ(地潜)。腹の模様(市松模様)の派手さから「元禄蛇」の異名あり。このへびはめったに見られるものではありません。私も通算4回目のご対面です。(HRDB 要注目種) 名前のおり地下生活が多く、ネズミなどを食べているらしい。無毒でとっても臆病(慎重?)な蛇です。好きな子は触って可愛がってくれました。よく知れば大丈夫。



見事な「市松模様」ジムグリ

はなみずき保育園分園来訪時は「戻り梅雨」の「梅雨の中休み」。何のことかわからなくなってきましたが、蒸し暑い! が山の中なのでそれなりに涼しい。

でも水分補給はこまめに。今回はジムグリは出てきませんでした。定番の天使の羽根?(兜の前立て?)は皆さんお気に入り。シシガシラやウラジロ(シダ植物)をガムテープなどで帽子や背中に貼り付けます。緑がすがすがしく、本当に天使のように飛べそうです。



両腕に天使の羽根

樹液が出ている木もあり、クワガタ! といきたいところですが、カナブン(金蚕)数匹。コメツキムシ(米搗虫)の仲間もいました。うん? 今年もスズメバチを見かけることが少ないような? たいがい、カナブンと樹液の奪い



カナブン捕獲に挑戦



合いをしているもんですが…。昨年の影響で女王蜂の数が少ないのか？安心は安心ですが。ちょっと寂しい感じも。でもマムシは多い。気をつけなければ。

そして保育園「夏」シーズン最後は、はなみずき保育園本園。戻り梅雨終盤？（変なの…）前



長靴滑り止め自慢「どうよ！」

日から雨予報で開催が危ぶまれました。しかし、最近の天気予報はピンポイント予報も外れる。ちょうど開始時間から雨の予報でしたが、直前に少し降り、あとはむしろいい天気。しかし湿気がすごい。

バスを降りてきた子どもたちはまず長靴に履き替え。

丸山初回ということもあり、新品が多い。成長が早い時期、フル活用してもらいましょう。

まずは長靴裏の「滑り止め」自慢から。（長靴ならうちらの方がスゴイと思いながら…何を対抗意識出してるのか？）着替えもちゃんと持ってきています。



新品長靴完全水没中

すぐにカンサイスノキ（関西酢の木）をゲット。口に含みながらツチアケビ（土木通）の実を鑑賞。変とは思いますがあまり興味なし。そらそやな。竹筒ポストに石を入れ、それ川へ！雨のせいか川の中にサワガニは見つからず。水の深いところへ。魚がいます。カワムツ？進め～！新品長靴「完全水没」です。よくやった！長靴の意味は？濡れないため？安全のためでしょう。納得。冷たくて気持ちよかったみたいです。しかしまだ旅は始まったばかり。だんだんぬるくなってきますよ～。気持ち悪いかも。覚悟を！

実施3日とも暑かったのですが、冒険気分満載の1日を送ることができたようです。「安全は保障します！」とは言い切れない活動。マムシがいる。スズメバチもいる。ヤマウルシ。転倒などなど。しかし自然と接するとはそういうことではないでしょうか。よく知ることが生きることの第一歩。子どもたちの好奇心に蓋をせず、どんどんチャレンジさせる保育園。エールを送ります。

### 定期活動★7月9日（土） 基礎調査 7名で活動 竹筒ポストタグ交換

目的	市内	市外
丸山	53	58
ハイキング	11	27
散歩・登山	65	30

来場者数計 244 人  
（竹筒ポスト集計）

場所	時間	気温【水温】	電気伝導（EC）	PH
入口	10：00	28.2℃		
第3湿原	10：43	【24.1℃】	94.9μS/cm	6.4
視点場	11：05	29.3℃	63.1μS/cm	不能
第1湿原	11：20	【24.9℃】	75.9μS/cm	6.5
第2湿原	11：40	【24.4℃】	53.6μS/cm	6.6

PH計のセンサーを新調しました。結果は若干弱酸性になったか？少なくとも同じ数字が並ぶことが無くなったので正確にはなっただと思います。視点場前は水位が無く測定不能。湿原中央部の水



ちょっとくたびれた麦藁帽がいい

で計ってみるとPH6.2という数値が出ました。弱酸性土壌（畑）はPH6～6.5。定義では弱酸性はPH3～6だそうなので、どう転んでも定義では中性になってしまいます。植物のことを考えると「畑」の定義でいいのでしょうか。大体農作物も弱酸性を好むようです。水稻はなんとPH5～6.5が最もいいとか。PH3では植物が育つとも思えませんものね。そう言えば酸性雨の話、最近聞きませんね。なんでやろ？改善、慢性化？この日はまだ「戻り梅雨」前。とにかく水が少ない状態が続いていま



した。日差しも厳しく麦藁帽がうらやましかった。



タグ新調 白いね

竹筒に付けたタグ（名札）があまりにもみすぼらしくなったので新調しました。項目も「散歩・登山」を「登山・ハイキング」に。「散歩」は単独。多分来る人にはどうでもいいのですが、悩む人もいます。会員から「登山とハイキングは何らかの装備を必要とした歩行」、「散歩は準備必要なし」と指摘され、この項目に決定しました。最近結構入れてくれているようなので真剣に考えました。

「伝説の竹筒ポスト」のいわれについてはそのまま。ご利益があるという噂です。入れた日、焼肉屋でくじに当たったと。ネットで1つを見つけました。キャパオーバーもしばしばですので、巨大モウソウチクを探さなければと考えています。



大量のツチアケビの実

ツチアケビは順調？に実をつけていました。ヒヨドリなどの鳥が種を散布するという話ですが、人気があるのかどうかは疑問。それよりも毎年同じ場所でこれほど大きい株を維持していることに脅威を感じます。寄生しているナラタケがスゴイのですね。ナラタケが寄生している樹木もなぜ枯れないのか不思議で仕方ありません。ひょっとしてツチアケビがナラタケをコントロールして、ナラタケが寄生している樹木を助けているのかも？菌従属栄養植物は我々には謎だらけ。来年も出るんでしょうか？

湿原は水不足。第3湿原の木道下や視点場前は土状態。梅雨が無かった分の調整がどこかで入るとは思いますが、この丸山付近で調整されるとは限らない。「戻り梅雨」は続いています、やはり妙な気候です。



水なし 木道下



ハッチョウトンボ交尾中

ハッチョウトンボ（八丁蜻蛉）は多く確認できました。時間帯の関係か、交尾する姿も観察できました。加えて、久しぶりのヒメタイコウチ（姫太鼓打）がお出ましに。やっぱり地味。いつも言っていますが三田の皿池湿原にはウジャウジャ出るところがあります。基本なかなか見つからない生き物なのに。皿池のハゲ湿地（B湿地？）に何故ウジャウジャ出てくるのか解明してほしいものです。

出てきたのはのは成体ですね。しかも呼吸管がないような。切れたのでしょうか？もともと短く泳ぐことも飛ぶこともできないタイコウチ。短い呼吸管はオオミズゴケの下あたりで役にたっているのでしょうか。無いとオオミズゴケの下で溺れる？考えないでおきましょう。多分マニアは知っているはず。ペアでオークション販売されてます。種の保存か？愛知県産が多いですね。ええんやろか？



見つからんのが普通？



地味なヒメタイコウチ

木道の釘が飛び出しているのも打ち直しましたが、木の腐食が進んできています。近い将来交換も必要かも。

帰り道キマワリ（木廻）が地面を歩いているのをゲット。木を回っているばかりではないようです。我々は近回りで帰途につきました。



ゴミムシダマシの仲間 キマワリ

次回活動日 7月24日(日) 8月13日(土) ライン張り 20日(土) サギソウ開花数調査 27日(土) ECO講座